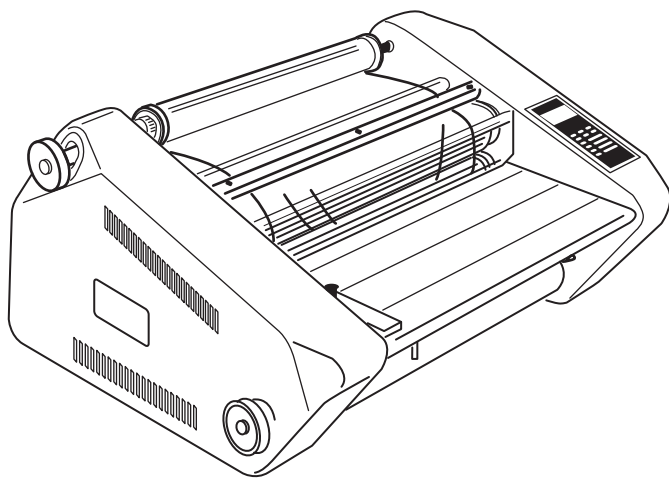
取 扱 説 明 書

デスクトップロールラミネーター

B316A3 （A3 対応機）
B635A1 （A1 対応機）

B316A3
B635A1 V1

はじめに

このたびはＧＢＣロールラミネーターをお買求めいただき、ありがとうございました。
ＧＢＣラミネーターは書類や印刷物の中で長期保存を必要とするものや常日頃頻繁に使用する物などの汚れ・破損を防止するためにラミネートコーティングをするものです。ロールラミネーターはＡ1・Ａ3サイズ対応の機種がラインアップされており、ポスターや図面等の加工にも最適です。
ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。

目　次

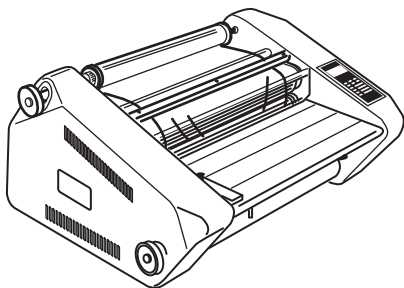
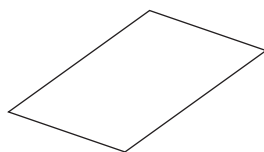
お客様へ

★小さなお子様自身の使用、または小さなお子様はいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。
　また使用後は必ず電源スイッチを切り、電源プラグも抜いてください。

★本機は制振性を高めるために底面にゴム製の足(ゴム足)を使用しております。一般に、ゴム製品に接する面の材質によっては(特にビニル系)、接触すると褐色に変色することがあります。
　本機を置く場所の材質によって、変色を避けるためゴム足が直接触れないようにマット等の保護材を使用してください。

内容物の確認

下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。
後述の使用方法にしたがってご利用ください。

マシン本体

フィルム通し板（厚紙）

電源コード

取扱説明書

ご使用上の注意

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警告

マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
　※高温のため、やけどをする恐れがあります。

ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
　※けがをする原因になることがあります。
万一、引き込まれたときはスイッチを“OFF”にして取り除いてください。

濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
　※感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせたり、しないでください。
　※火災、感電の恐れがあります。

ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
　※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。
　※火災、感電の恐れがあります。

⚠注意

本機は紙専用のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。

絶対に可燃物（セロハン等）、軟化しやすい物（塩ビ、ポリエチレン）は加工しないでください。
※火災の恐れがあります。

ラミネーター操作中はそばを離れないでください。

絶対に本体の上に物を置かないでください。
※本体上面は高温になります。

本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム排出口側（後側）からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。

冷暖房機のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

本機に水などをかけないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

必ず接地接続を行ってください。

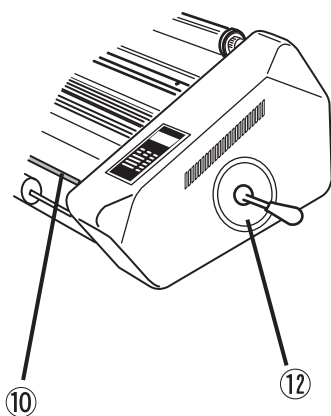
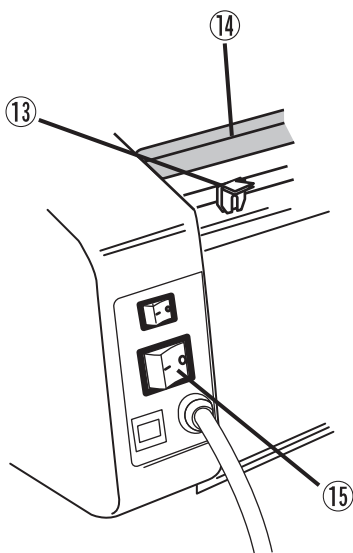
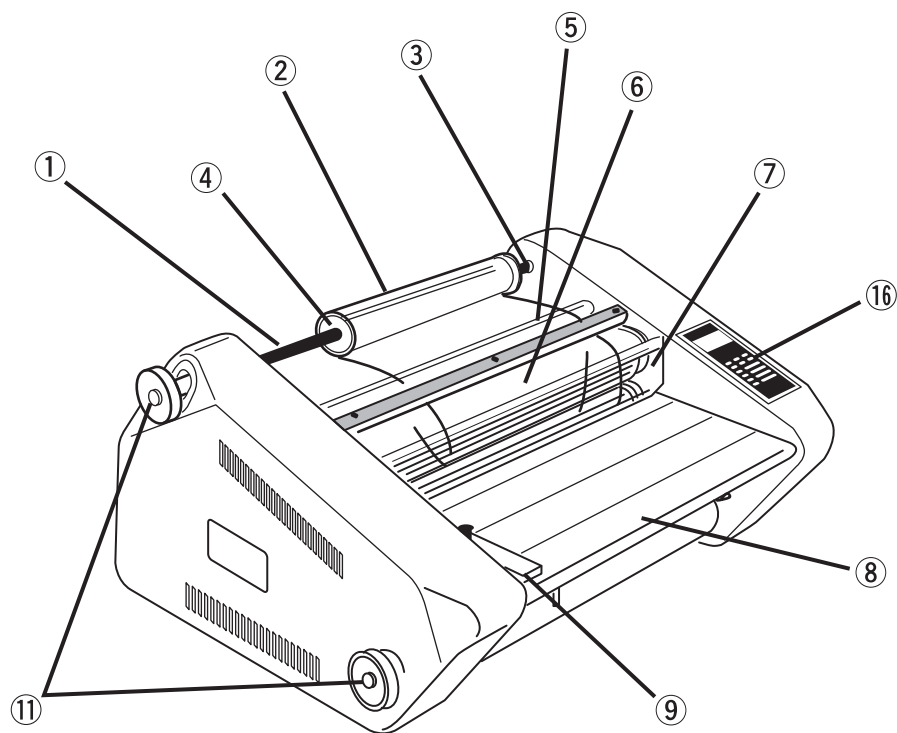
接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの傍らに物を置かないでください。

本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム排出口側（後側）からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。

電源は必ず単独のＡＣ１００Ｖ電源をご使用ください。本機は消費電力が大きいので、タコ足配線はしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

各部の名称と働き

①フィルムシャフト
紙管アダプターをセットしたフィルムを上下のシャフトにセットしてください。

②フィルム
加工用フィルムです。上下一対のフィルムを使用します。

③フィルムストッパー
シャフトに取り付けたフィルムを固定します。

④紙管アダプター
フィルムは紙管アダプターを使用してシャフトに取り付けてください。

⑤上フィルムガイド
フィルムのしわを取り除くための補助ガイドです。

⑥ヒートローラー
フィルムの接着面を溶かします。

⑦ヒートローラーカバー
高温になっているヒートローラーに手などが接触することを防ぎます。
安全スイッチ機能でもあり、このカバーが正しくセットされていないと左右両サイドにあるカバーロックスイッチが入らず、機械は作動しません。

⑧フィーダーテーブル
加工物をのせ、ヒートローラーの間に送るためのテーブルです。また、安全スイッチでもあり、このテーブルが正しくセットされていませんと機械は作動しません。

⑨フィードガイド
まっすぐに挿入するために加工物の左側面をこのガイドにあわせてください。加工物の大きさに合わせてガイドをスライドさせてください。

⑩下フィルムガイド
フィルムのしわを取り除くために補助ガイドです。フィルム交換はこのガイドをフリーにして使用し、加工時はの定してテンションをかけてください。

⑪フィルムテンションノブ
上下にあるこのノブを操作してフィルムのテンションを調整してください。

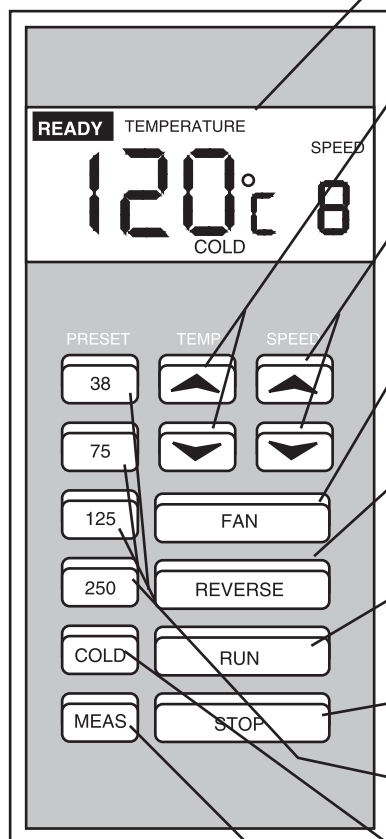
⑫ローラープレッシャーハンドル
使用するフィルム、加工物等に合わせ、ローラーのプレッシャーをセットしてください。

⑬フィルムカッター
ラミネートが終了して排出されたフィルムを、このカッターを押しながらスライドさせて切ってください。

⑭プルローラー
ヒートローラーにより溶かされたフィルムを加工物へ圧着します。また、加工物を送る動力になります。

⑮主電源スイッチ
この主電源スイッチを入れて、ヒートローラーを加熱させます。

⑯スイッチパネル
操作（スタート、逆転）や温度／速度設定などを全てこのスイッチパネル上で行います。（後述「スイッチパネル」の項を参照してください。）

スイッチパネル

ディスプレイ
　設定条件や速度／温度の状況をデジタル表示で表わします。

温度調整設定ボタン（TEMP）
　このボタンを操作して温度を設定します。上げる場合は「▲」を、下げる場合は「▼」を押してください。

速度調整ボタン（SPEED）
　このボタンを操作して速度を設定します。上げる場合は「▲」を、下げる場合は「▼」を押してください。

冷却ボタン（FAN）
　このボタンを押し、マシン内部にこもる熱を逃がすためにファンが送風を始めます。ON状態では、ボタン内部のLEDが点灯します。

逆転ボタン
　このボタンを押すと、ローラーが逆転します。トラブル解消のために使用します。

スタートボタン
　このボタンを押すと、ローラーが正転作動し、ラミネートすることができます。

ストップボタン
　このボタンを押すと、ローラーが停止します。

プリセットボタン
　初期設定条件（温度／速度）をプリセットボタンを押して、設定します。

コールドラミボタン
　コールドラミ加工の場合に使用し、このボタンを押すと、ヒーターを作動させずに、ローラーを作動させることができます。

ディスプレイ表示ボタン（MEASURE）
　このボタンを押すと、ディスプレイにヒートローラー表面の現在温度が表示されます。

ラミネート加工上の注意

ホットラミネート加工の場合

★ このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。紙でもコーティング処理された紙や油分を含むコート紙やユポ等はラミネートしないでください。

★ 和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。

★ 可燃物（セロハン等）・軟化しやすい物（塩ビ、ポリエチレン等）は絶対にラミネートしないでください。

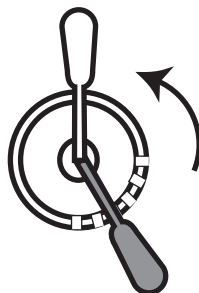
★ 再製することが不可能なような貴重なものはラミネートしないでください。

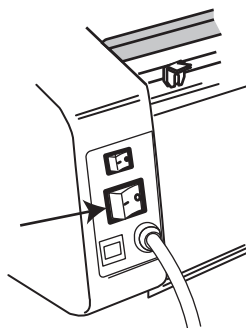
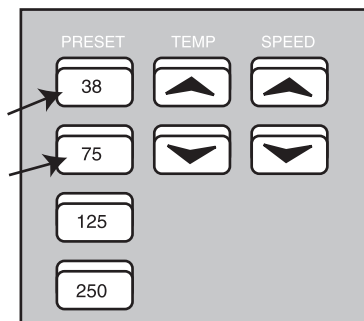
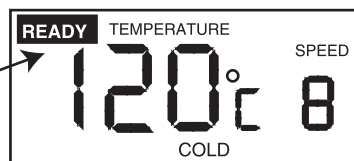
★ フィルムを含めて厚さ1mm以上になるものはラミネートしないでください。

★ 静電気により、加工完了物が逃げ場を失いローラーに巻き込まれることがありますので、フィルム排出口にフィルムが溜まらないように注意してください。

ラミネートの準備

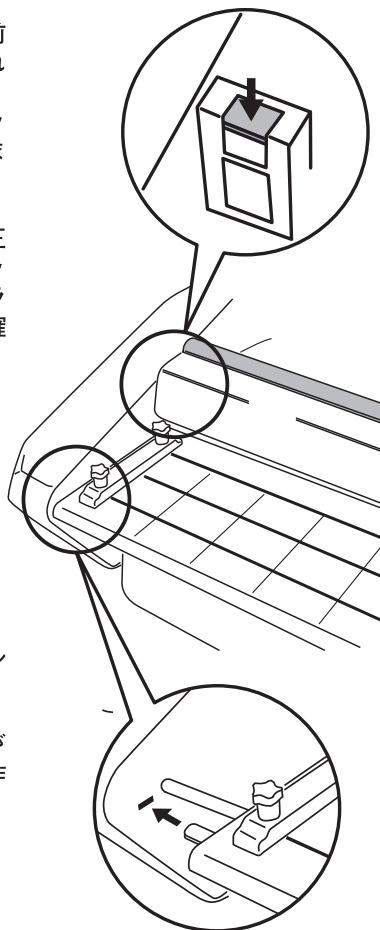
①付属の電源コードをコンセント(AC100V)にさし込んでください。
アース端子はアースターミナルのあるコンセントか、適切な接地のできる端子に接続してください。

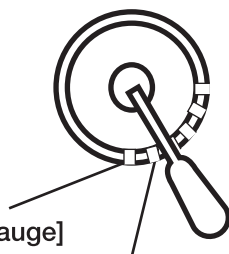
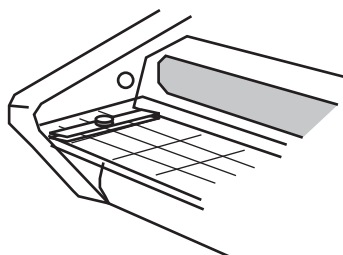
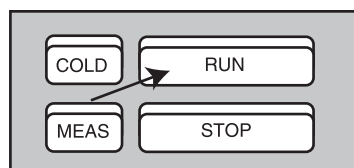
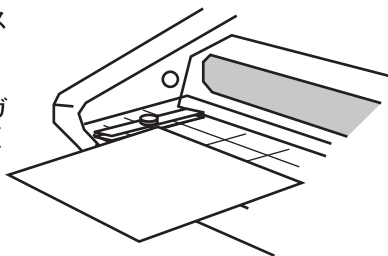
②マシン右側面にあるローラープレッシャーハンドルロックを解除して、フリーになるようにハンドルを垂直に立ててください

★ウォームアップ中はヒートローラー保護のため、ローラープレッシャーを解除してフリーにしておいてください。

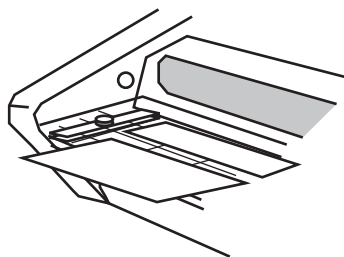
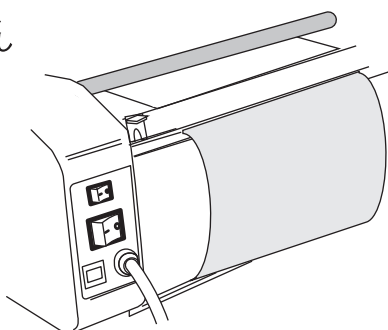
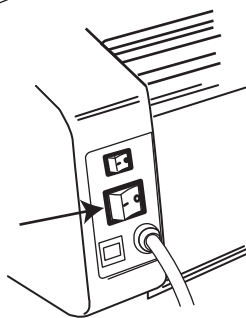
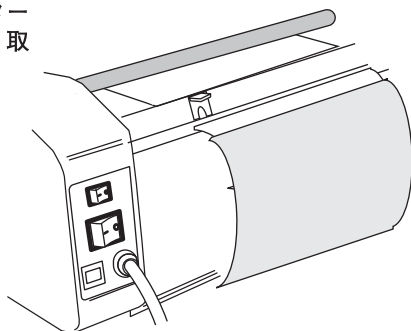
③マシン背面にある主電源スイッチを（ I ）側へ押して電源を入れてください。ブザーが鳴り電源が入ったことを知らせ、ディスプレイに数字が現われます。レディ(READY)の文字が点滅を始めます。また、スイッチパネルにある冷却ボタン（FAN）を押してONにしてください。

④プリセットボタンを押し、12ページの表を参考にして、設定温度／速度を設定して下さい。
使用するフィルムが
32μm(マイクロメートル)の場合は[1.5/3]、
100μm(マイクロメートル)の場合は[3/75]のボタンを押してください。

⑤ディスプレイのレディ(READY)の文字が点灯にするまでお待ちください。レディ(READY)の文字が点灯すると準備完了です。
きれいに加工をしていただくためには、レディ(READY)の文字が点灯後、あと10分ほど温度が安定するまでお待ちください。

ラミネートする前に

★ヒートローラーカバーを閉め、カバー左右前面にあるカバーロックスイッチを正しく入れてください。
カバーロックスイッチのロックピンがスイッチ受部にきちんと入っていませんと作動しません。

ヒートローラーカバーのシャフトが受部に正しく入っていませんと、カバーロックスイッチが入りません。セット時に、ヒートローラーカバーが正しくセットされていることを確認してください。

★フィーダーテーブルをセットして、テーブル裏面にあるテーブルロックスイッチを正しく入れてください。
フィーダーテーブルスイッチのロックピンがスイッチ受部にきちんと入っていませんと作動しません。

操作方法

①マシン右側面にあるローラープレッシャーハンドルをセットしてください。
使用するフィルムが
32μmの場合は、[1.5mil/38mic]
100μmの場合は、[Heavy gauge]
へセットしてください。

②フィードガイドを加工物のサイズに合わせ、まっすぐ挿入できるようにセットしてください。

③フィーダーテーブルの上に加工物をのせ、スイッチパネルにあるスタートボタンを押して、ローラーを作動させてフィルムを走行させます。フィルムが走り始めましたら、フィーダーガイドに合わせて加工物をゆっくり挿入してください。

★この時、静電気等でフィルムが巻き込まれないようにフィルムの先端を排出口より手で引き出してください。

④連続して加工する場合は、先に挿入した加工物が完全にヒートローラーの中に入ったことを確認してから次の加工物を入れてください。

⑤加工物が後側の排出口より完全に出ましたら、スイッチパネルにあるストップボタンを押して停止させてください。

⑥加工が終了しましたら、必ずマシン背面にある主電源スイッチをオフ（O）側にして電源を切ってください。また、スイッチパネルにある冷却ボタン（FAN）を押してOFFにしてください。
そして、ローラープレッシャーハンドルを垂直になるまで立てて、フリーにしてください。

⑦マシン背面の排出口にあるフィルムカッターを押しながらスライドさせて加工物を切り取ってください。

フィルムの交換方法

フィルムの残量が少なくなり、赤色の帯テープが出ましたら、もう少しでフィルムの末端です。新しいフィルムと交換してください。

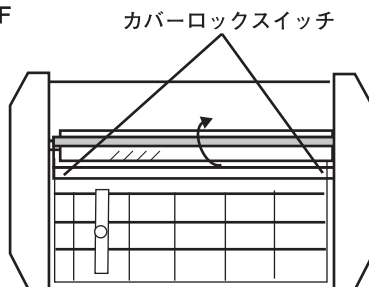
★フィルムの交換は上下のフィルムとも同時に行ってください。
上下どちらか一方のフィルムだけで作動させますと、フィルムののり面がヒートローラーに接着し、ヒートローラーを汚しますので注意してください。

フィルムの交換は、マシンにフィルムがセットされた状態で行う場合と、フィルムがセットされていない場合の方法が異なります。

フィルムがセットされた状態で交換する場合

フィルムがセットされた状態で行う場合、ヒートローラーの温度がすでに上がっている時とヒートローラーが常温に冷めている時の２つの方法があります。

ヒートローラーの温度が上がっている時

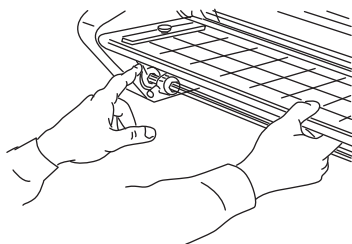
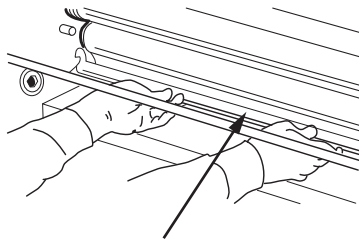
①カバーを上に上げてマグネットキーを解除します。自動的にカバーロックスイッチがOFFになります。

⚠ ヒートローラーカバーにあるスイッチ部（金属部）は熱くなっていますので、操作する時はハンカチ等を使用してください。

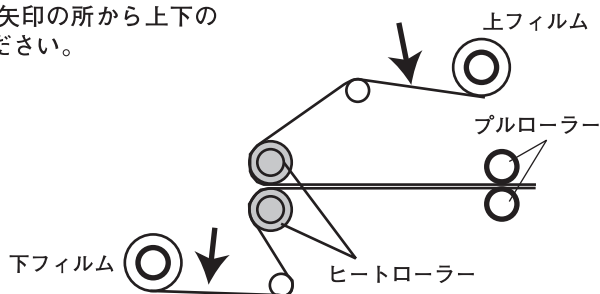
速度／温度ガイド

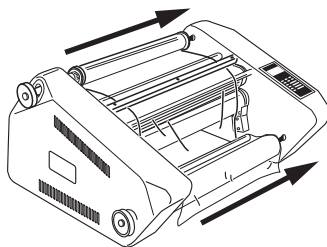
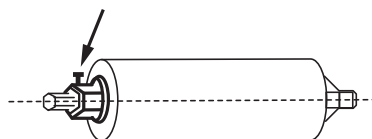
ラミネートする材料の厚さ、使用するフィルムの厚さに合わせて、下記の表を目安に温度／速度を調整してラミネートしてください。

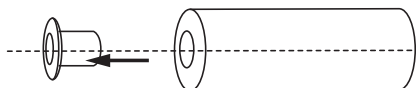
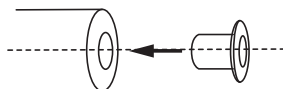
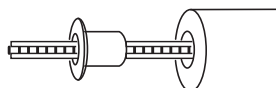
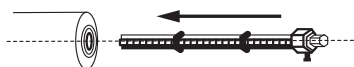
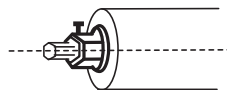
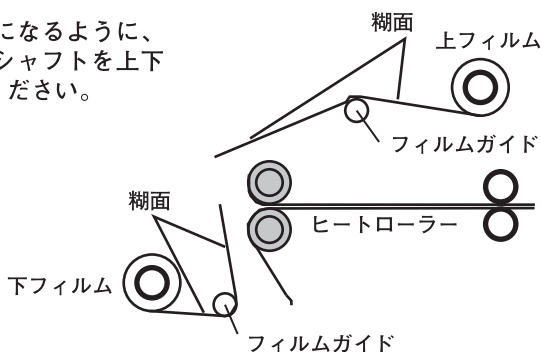
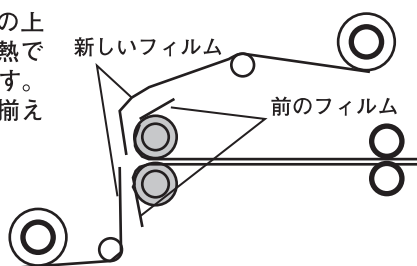
ラミネートするもの	フィルム厚			
	32μm		100μm	
	温　度	速　度	温　度	速　度
コピー用紙 レポート用紙	120℃	8	115℃	6
パンフレット ポスター カレンダー	120℃	6	115℃	5
メニュー 写真 ボード紙	120℃	5	115℃	4

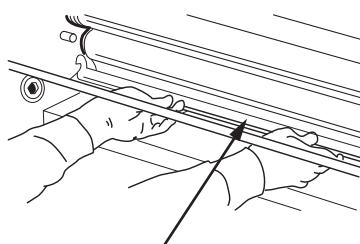
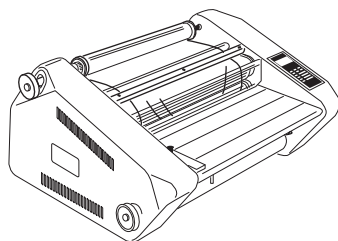
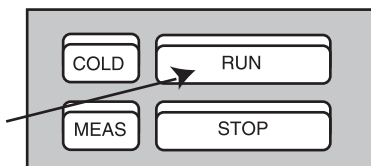
※何もキー操作をせずに時間が経過すると、ヒーター電源が落ちます。
この場合、ディスプレイに「Standby」が表示されます。復帰には電源スイッチを再投入してください。

②スイッチピンを右に引いてはずし、フィーダーテーブルを上にあげてはずしてください。

③下ヒートローラーに下にあるフィルムガイドのバーを少し持ち上げてはずし、フリーにしてください。

ヒートローラーは高温になっておりますので直接触らないよう注意してください。

④カッターを浅く入れて、矢印の所から上下のフィルムを切り離してください。

カッターでフィルムの下にあるプルローラーを傷つけないように十分に注意してください。

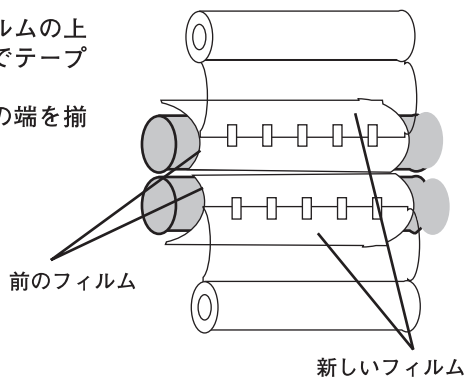
⑤上のフィルムシャフトを持ち、右へ押しながら左側からフィルムシャフトをはずしてください。（右側のシャフト受けはスプリング機構が付属しています。）
同様にして、下のフィルムシャフトもはずしてください。

⑥左側のフィルムストッパーのノブを緩めて、シャフトからフィルムストッパーをはずしてください。
右側のストッパーはシャフトに作られた溝にセットされており、上下のフィルムの位置が合うようになっています。

⑦フィルムをシャフトからはずしてください。（紙管アダプターをつけたままはずします。）

⑧左右に付いている紙管アダプターをはずしてください。紙管アダプターを内側からシャフトを利用して突くと簡単にとれます。

⑨右側になる新しいフィルムの端に紙管アダプターをキチンと奥までセットしてください。

⑩シャフトを紙管アダプターのセットされた側から入れてください。
反対側へシャフトが通り抜けたら、もう１つの紙管アダプターをシャフトに入れ、フィルムにきちんと当たるように押し込んでください。

⑪外したフィルムストッパーをセットして固定すればセットの完了です。

⑫フィルムの糊面が右図のようになるように、新しいフィルムを取り付けたシャフトを上下のシャフト受けにセットしてください。

⑬新しいフィルムの先端部を前にフィルムの上に重ね合せてください。前のフィルムは熱で溶けていますのでフィルム同士が接着されます。この時、重ね合せるフィルムの左右の端を揃えてください。

⚠ ヒートローラーは高温になっておりますので直接触らないよう注意してください。

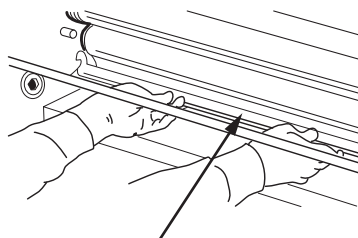
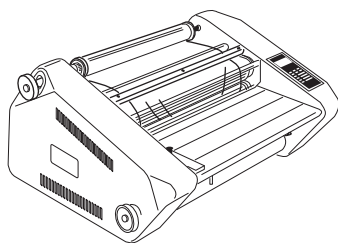
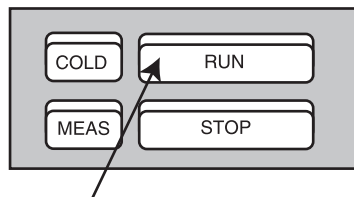
⑭下フィルムガイドを押し上げて、奥のストッパーへ入れてフィルムガイドを固定してください。

⑮フィードテーブルとヒートローラーカバーをセットしてください。この時各々のL字スイッチロックピンをキチンと入れてください。

⑤重ね合せたフィルムが透明になったことを確認してからスタートボタンを押し、シワがなくなるまで”から通し”すれば準備完了です。

⚠ 静電気等でフィルムが巻き込まれないように排出口のフィルムは手で引き出しておいてください。

ヒートローラーの温度が上がっていない時

新しいフィルムのシャフトへの「はずし方」「取り付け方」は前項（①〜⑪）で説明した要領で行ってください。

⑫新しいフィルムの先端部を前にフィルムの上に重ね合せて、ヒートローラーの上でテープを使用して止めてください。
この時、重ね合せるフィルムの左右の端を揃えてください。

前のフィルム

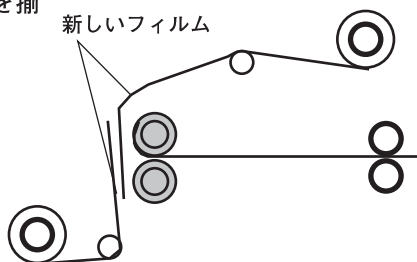
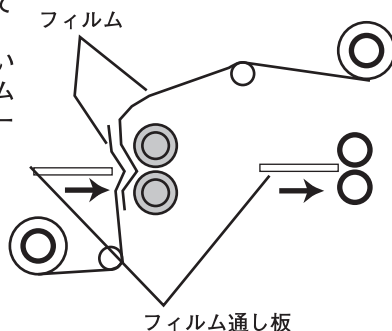
新しいフィルム

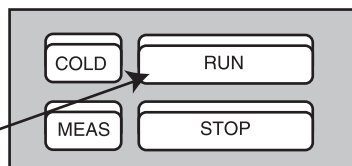
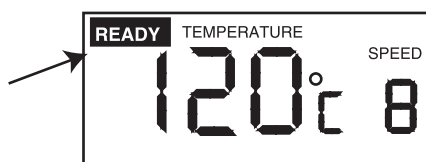
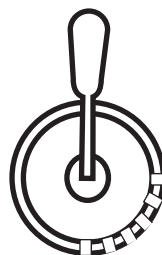
⑬下フィルムガイドを押し上げて、奥のストッパーへ入れてフィルムガイドを固定してください。

⑭フィードテーブルとヒートローラーカバーをセットしてください。この時、各々のスイッチロックピンをキチンと入れてください。

⑮重ね合せたフィルムがテープで止まっていることを確認して、ローラープレッシャーハンドルをセットしてください。(10ページ①参照)
スタートボタンを押してテープの貼合部が排出口に出て、しわがなくなるまで”から通し”すれば準備完了です。

⚠ 静電気等でフィルムが巻き込まれないように排出口のフィルムは手で引き出しておいてください。

前のフィルムがセットされていない場合

新しいフィルムのシャフトへの「はずし方」「取り付け方」は前項(①〜⑪)で説明した要領で行ってください。

電源を切った常温の状態で行ってください。

⑫新しいフィルムの先端部をヒートローラーの前で10cm位重ね合せてください。
この時、重ね合せるフィルムの左右の端を揃えてください。

⑬ローラープレッシャーハンドルがはずされて垂直に位置にあることを確認してください。
上下のヒートローラーの間にすき間ができていますので、フィルムを重ねた上からフィルム通し板をすき間に入れ、後方のプルローラーに達するまで差し込んでください。

⑭通し板が奥のプルローラーに突き当たりましたら、ローラープレッシャーハンドルを降ろしてセットしてください。

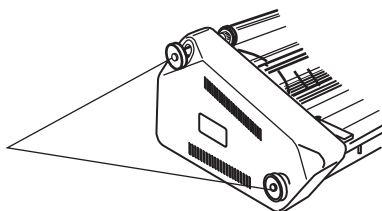
⑮スタートボタンを押し、通し板を排出口より出してください。通し板を抜き、上下のフィルムの両端を揃えてください。

⑯ローラープレッシャーハンドルを垂直に立てフリーにして、電源を入れてディスプレイに「READY」の文字が点灯（点滅ではなく）するまでお待ちください。（8ページ参照）

フィルムテンションの調整

使用するフィルムにより、フィルムのかかるテンションを調整してください。

★フィルムのテンションが弱いと「しわ」になる要因となり、また、強すぎますと「伸びる」要因となります。

★上と下のフィルムにかかるテンションは同程度にセットしてください。どちらか一方が強かったり、弱い場合は仕上がりがカールする要因になります。

調整方法

下図のようにマシン側面にあるフィルムテンション調整ノブを操作して、上下のフィルムテンションを各々調整してください。

★右図のようにテンション調整ノブを「右」へ回すと「強く」なり、「左」へ回すと「弱く」なります。

こんなときは

現　象	原　因	対処法（参照ページ）
電源が 入らない	◇電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。　（8ページ）
作動しない (ディスプレイは表示されている)	◇ヒートローラーカバーがセットされていますか？	シャフトを正しい位置へ入れ、ヒートローラーカバーをセットしてください。カバーが正しくセットされるとを自動的にヒートローラーカバースイッチがONになります。（9ページ）
	◇フィーダーテーブルがセットされていますか？	フィーダーテーブルをセットして、スイッチピンをキチンとセットしてください。　（9ページ）
	◇フィルムが正しくセットされていますか？	フィルム正しくをセットして、フィルムが排出口よりキチンと出るようにしてください。（13〜19ページ）
	◇ローラープレッシャーハンドルがセットされていますか？	ローラープレッシャーがセットされていませんと、ローラーが作動しません。ローラープレッシャーハンドルを正しくセットしてください。　（10ページ）
温度が 上がらない	◇プリセットボタンで温度を設定しましたか？	プリセットボタンを押して、使用するフィルムに合わせ、温度／速度を設定してください。　（9ページ）
仕上がりが 白っぽく 曇っている	◇設定温度が低すぎます。	スイッチパネルの温度調整ボタンを操作して設定温度を上げてください。　（6ページ）
	◇設定速度が速すぎます。	スイッチパネルの速度調整ボタンを操作して設定速度を下げてください。　（6ページ）
	◇ローラープレッシャーがセットされていますか？	ローラープレッシャーハンドル正しい位置へセットしてください。（10ページ）

現　象	原　因	対処法（参照ページ）
加工表面が 波を打っている	◇設定温度が高すぎます。	スイッチパネルの温度調整ボタンを操作して設定温度を下げてください。（6ページ）
	◇設定速度が速すぎます。	スイッチパネルの速度調整ボタンを操作して設定速度を上げてください。（6ページ）
加工表面に 気泡ができる	◇設定温度が高すぎます。	スイッチパネルの温度調整ボタンを操作して設定温度を下げてください。（6ページ）
	◇設定速度が遅すぎます。	スイッチパネルの速度調整ボタンを操作して設定速度を上げてください。（6ページ）
フィルムが 接着しない	◇ディスプレイにREADYの文字が表示されていますか？	プリセットボタンを押して、使用するフィルムに合わせ、温度／速度を設定してください。その後、ディスプレイREADYの文字が表示されるまでお待ちください。（10ページ）
	◇フィルムが正しくセットされていますか？	フィルムの糊面を確認して、正しくセットし直してください。（16ページ）
	◇紙以外のものを加工していませんか？	紙以外のものはホットラミネート加工をすることができません。（7ページ）
加工面にしわや カールができる	◇上下に状態の違うフィルムがセットされていませんか？	同じ長さ、同じ厚さのフィルムを使用してください。（13ページ）
	◇フィルムのテンションが上下均等に調整されていますか？	しわやカールがなくなるように上下のテンションを調整してください。（20ページ）
	◇マシンは水平な所に設置されていますか？	マシンは水平で、安定した場所に設置してください。（20ページ）

製品仕様

商品名	デスクトップロールラミネーター **B316A3**	デスクトップロールラミネーター **B635A1**
製品コード	GDRB316A3	GDRB635A1
サイズ(W) x (D) x (H)	615 x 450 x285mm	910 x 450 x285mm
重量　kg	31.0 kg	46.0 kg
投入幅	316mm	635mm
加工速度	0 ～ 1.4 m／分	0 ～ 1.4 m／分
加工温度	0 ～ 130 ℃	0 ～ 130 ℃
ｳｫｰﾑｱｯﾌﾟ ﾀｲﾑ	１ ０分	２ ０分
加熱方式	ヒートイン（赤外線）	ヒートイン（赤外線）
電源	100 V, 50/60 Hz	100 V, 50/60 Hz
消費電力	1050 W	1200 W

保証とサービス

★保証書は内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
販売店印、お買い上げ年月日の記入の無いものは無効となりますのでご注意ください。

★保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき、無償修理または交換いたしますのでお買い求めの販売店、または、弊社へお申し出ください。

（1） 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
- a 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- b お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
- c 火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷。
- d 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。
- e 本書の掲示のない場合。
- f 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- g 本機は専門処理業者様の業務用途には適しません。

（2）ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社へご相談ください。

（3）本書は日本国内においてのみ有効です。

（4）本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

（5）補修用性能部品保有期間は製造中止後5年間です。
同等機種との交換により修理対応とさせて頂く場合もございます。

修理メモ

お客様相談窓口　：野田サービスセンター　04-7129-2135

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または当社へお問い合わせください。

キ リ ト リ 線

デスクトップロールラミネーター 持込修理 保証書

品　　名	デスクトップロールラミネーター B316A3 / B635A1
品　　番	GDRB316A3 / GDRB635A1
保証期間	1年
シリアルNo.	

★お買上げ日	年　　月　　日
★お　客　様	ご芳名 ご住所 TEL　(　　)

★印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
保証期間内に、取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で故障した場合には本書記載内容に基づき、お買い上げの販売店が無償修理いたします。お買い上げの日から左記保証期間内に故障した場合は商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	住所／店名 TEL　(　　)

ACCO BRANDS
アコ・ブランズ・ジャパン株式会社
www.accobrands.co.jp
お客様相談センター（野田サービスセンター）
04-7129-2135（代）

見本

個人情報のお取り扱いについて

本保証書にご記入いただいたお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動や保証期間経過後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。お客様の個人情報は当社にて厳重に管理いたしますが、修理のために、当社から修理委託する保安会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございます。その場合は当社が厳重に管理いたしますので、あわせてご了承ください。